

**平成28年度事業計画書**  
**平成28年度予算書**

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人 海原会

# 平成 2 8 年度 事業計画書

自 平成 2 8 年 4 月 0 1 日

至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

公益財団法人海原会は、戦没された豫科練同窓生各位の御霊に対して、深甚なる敬意を捧げるとともに、その歴史的事実を正しく後世に伝承するため及びその御霊の安らかならんことを願うための事業を通じて、かつて日本国民が味わった惨禍を再び繰り返すことのないように、全世界の平和とわが国の繁栄及び国民の幸福に寄与することを基本理念として昭和 5 3 年に設立されて以来、今日まで 3 8 年に亘って活動してまいりました。

この間、多大の貢献をしてきた豫科練同窓生を中心とする会員も、そのほとんどが齢 8 5 才を過ぎ活動も思うにまかせない状況となりつつありますが、逐次若い世代に本法人の意義あるところを伝承すべく豫科練精神を発揮して法人の諸活動を進めております。

平成 2 8 年度は特に、ご遺族との連携を強化するための施策を促進するとともに、戦没豫科練生の聖地とも言うべき雄翔館及び雄翔園を戦没豫科練同窓の慰霊と顕彰に相応しいものとするべく、昨年度に引き続きその整備を目指します。

また、役員世代交代を円滑におこなうための諸準備を計画的に実施します。

この際、霞ヶ浦支部の今後の在り方について検討を推進します。

## I 慰霊・顕彰事業

### 1 慰霊事業

先の大戦において、祖国日本の危急を救うために、名実ともにわが国航空戦力の中核となり、あるいは航空機に代えて回天・震洋などの搭乗員として、一身を国に捧げた豫科練出身戦没者の慰霊事業は、本法人の主要事業の一つであります。

その中でも最も重要なものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に建立されている「雄翔園」に於ける「第 4 9 回全国豫科練戦没者慰霊祭」であります。本年度も前年度に引き続き、日本全国から多くの同窓生及びご遺族等のご参列を頂き、昨年度と同様初夏の風が心地よい、5 月 2 9 日（日）に開催します。

「全国豫科練慰戦没者霊祭」以外にも、全国各地で行われる慰霊祭に、海原会役員を出席させ本会の目的である豫科練出身戦没者の慰霊を推進いたします。

その主要なものは以下に記述するとおりです。

#### (1) 第 4 9 回全国豫科練戦没者慰霊祭

今年度の慰霊祭からは、従来の海原会会員に加えて土浦海軍航空隊の地元阿見町町民の皆さんや小学校・中学校の児童生徒の皆さんにも自由に慰霊祭に参加していただき、豫科練の町「阿見」に相応しい環境作りにも貢献したいと考えています。

ア 時期 : 平成 2 8 年 5 月 2 9 日（日） 午前 1 0 時 3 0 分

イ 場所 : 陸上自衛隊武器学校内 雄翔園及び阿見町豫科練平和記念館用地

- ウ 内 容 : (ア) 慰霊飛行  
 (イ) 第49回豫科練戦没者慰霊式典  
 (ウ) 直 会
- エ 協 力 : 陸上自衛隊武器学校  
 陸上自衛隊施設学校  
 海上自衛隊下総教育航空群  
 阿見町豫科練平和記念館  
 阿見町交通安全母の会  
 阿見町厚生保護女性の会

(2) 各地区戦没者慰霊祭

ア	豫科練雄飛会慰霊祭	平成28年4月	於：靖国神社境内
イ	靖国神社春季例大祭	平成28年4月	於：靖国神社参集殿
ウ	大分海軍航空隊鎮魂祭	平成28年4月	於：大分護国神社
エ	浜空鎮魂の碑慰霊祭	平成28年4月	於：浜空神社跡地
オ	宮崎特攻基地慰霊祭	平成28年4月	於：宮崎特攻基地慰霊碑前
カ	若桜の碑慰霊祭	平成28年5月	於：同碑前
キ	靖国神社第24期慰霊祭	平成28年5月	於：靖国神社境内
ク	靖国神社崇敬奉賛会	平成28年5月	於：靖国神社境内
ケ	東郷神社海の宮祭	平成28年7月	於：「海の宮」お社前
コ	全国戦没者追悼式	平成28年7月	於：日本武道館
サ	8.15会慰霊祭	平成28年8月	
シ	特攻平和観音慰霊祭	平成28年9月	於：世田谷観音
ス	零戦の会慰霊祭・総会	平成28年9月	於：靖国神社
セ	靖国神社秋季例大祭	平成28年10月	於：靖国神社参集殿
ソ	静岡雄飛会慰霊祭	平成28年10月	
タ	串良基地戦没者慰霊祭	平成28年10月	
チ	台湾元日本軍人軍属戦没者慰霊祭	平成28年11月	於：台中市宝覺寺
ツ	特攻隊戦没者慰霊祭	平成29年3月	於：靖国神社境内

2 顕彰事業

(1) 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

戦後70年が過ぎ、戦没同窓生のご遺族も世代が親兄弟から、子や孫の時代に変化し、家族の形態や居住環境が大きく変化したのに伴い、各ご遺族が保管していた遺書や遺品等もその維持管理が困難になるケースが多くなりつつあります。これにともない、本法人では予科練戦没者の遺書・遺品・実戦記録を収集するとともに、豫科練生存者・遺族及び海軍出身者などの体験談等を収集して、豫科練の史実を次の世代へ正しく伝承するための基盤の確立に努力するとともに、それらの資料を雄翔館に展示することにより戦没同窓生の偉勲の顕彰に努めます。

特に、28年度は海原会所蔵の遺書・遺品・遺影等の電子データ化を前年度に引き続き促進して、体系的な展示を可能にするとともに、戦没者紹介ポスターを海原会ホームページにアップして海原会会員の活用に供しえる体制を整えます。

ア 豫科練戦没者の遺書・遺品の収集および戦没者紹介パネル等の作成

(ア) 機関誌及びホームページに収集要領を掲載し、年間を通して資料の収集を実施します。

(イ) 収集した情報に基づき戦没者紹介パネルの作成を行います。

イ 収集した遺書・遺品等の整理保管を行うとともに、劣化防止のための施策の実施

ウ 体験談等の録画及び公開

実戦や豫科練での訓練・生活の様子について体験談を映像で収集整理するとともに、雄翔館内の証言記録視聴用モニターの内容の充実を図ります。

また、海原会ホームページへのアップを計画します。

## (2) 遺族調査事業

様々な手段により戦没豫科練生のご遺族の調査を行い、ご遺族ネットワークを構築するとともに、現在海原会で把握しているご遺族のデータベースの充実・更新を行います。また、ご遺族訪問を行い、証言記録を作成保存するとともに、ご遺族の同意を得たものについて機関誌及びホームページ上に公開します。

## (3) 阿見町豫科練平和記念館への協力

阿見町豫科練平和記念館運営協議会委員として、適任の理事1名を参加させ同館の運営に対して意見を述べ、同館と雄翔館の同地域における共存共栄の基盤を確立します。

## (4) 海上自衛隊への協力

豫科練の教育制度を継承する海上自衛隊航空操縦学生の教育訓練に、同窓生を派遣する等の支援を行います。

## II 定期刊行物発行事業

本法人の機関誌「豫科練」は、発行以来435号を数え、会員・遺族及び関係諸団体の皆さんから強い関心と高い評価を得ておりますが、28年度は更に掲載内容の充実を図り本法人の健全なる運営に資するように努力してまいります。

このため、編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、豫科練同窓の戦争体験談等の、従来の内容に加えて、今年度も生存同窓やご遺族の皆様あるいは海原会会員の皆様から投稿していただき、これまで以上にご遺族の皆様・会員の皆様に喜ばれるような内容の充実に力を入れてまいります。

また、同誌に投稿をしていただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより、会員以外の購読者の発掘にもチャレンジしたいと考えております。

### 1 編集委員会

(3, 4月号) : 2月 (5, 6月号) : 4月 (7, 8月号) : 6月 (9, 10月号)

8月 (11, 12月号) : 10月 (1, 2月号) : 12月 (3, 4月号)

### 2 機関誌発行

(3, 4月号) : 3月1日 (5, 6月号) : 5月1日 (7, 8月号) : 7月1日

(9, 10月号) : 9月1日 (11, 12月号) : 11月1日 (1, 2月号) : 1月1日

## III 青少年育成支援事業

1 28年度も昨年度に引き続き、青少年育成のための助成を実施します。助成対象については、会員から候補団体などの情報を収集して、理事会に図った上で決定し予算の範囲内で支援を行うように努めます。

2 助成の公平性を確保するために、助成対象の基準の作成を行います。

## Ⅶ 庶務事項

### 1 理事会

月1回の定例理事会を海原会事務局会議室において、実施します。

平成28年4月14日 5月20日 6月10日 7月15日 8月25日

9月15日 10月21日 11月17日 12月16日

平成29年1月19日 2月17日 3月16日

### 2 評議委員会

第5回評議委員会を平成28年6月9日（木）東海大学学友会館において実施する。

(1) 27年度事業報告審議（27年度収支決算を含む。）

(2) 28年度事業計画報告（28年度予算書を含む。）

(3) 28年度役員改選

(4) 海原会約款改正

### 3 会計監査

平成27年度の収支報告書に基づき、会計監査を行い海原会の経費使用状況の健全性を監査する。

(1) 時期 平成28年4月26日（火）

(2) 場所 海原会事務局 会議室

(3) 参加者

ア 経理担当副理事長、事務局長、経理担当理事

イ 監事（2名）

ウ 事務局員

### 4 新会員証の配布

新たに作成した、海原会会員証を各会員に配布します。